

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【公開番号】特開2001-241447(P2001-241447A)

【公開日】平成13年9月7日(2001.9.7)

【出願番号】特願2000-55409(P2000-55409)

【国際特許分類】

**F 16 C 33/38 (2006.01)**

【F I】

F 16 C 33/38

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上述の様に構成する保持器8aの各ポケット10a、10a内に、玉軸受を構成する内輪軌道と外輪軌道との間に配置した複数個の玉6を1個ずつ保持した状態では、上記各押圧部14が上記各玉6を、上記主部9の軸方向に関して1対の弾性片11、11の先端側(図3の上側)に弾性的に押圧する。そして、この様に各押圧部14、14が各玉6を押圧する事に基づき、上記保持器8aが、これら各押圧部14、14がこれら各玉6を押圧する方向と反対方向(図3の下側)に変位する。この結果、上記保持器8aを構成する総てのポケット10a、10a内に保持した各玉6が、これら各ポケット10a、10a内の上記1対の弾性片11、11の先端寄り部分に配置される。特に、本例の場合には、この状態で上記各玉6の転動面が、上記各ポケット10a、10aの内面のうち上記各弾性片11、11の内側部分(図3のQ<sub>1</sub>、Q<sub>2</sub>部分)に押し付けられる様に、各部の形状及び寸法を規制している。この結果、図3に示す様に、上記各玉6が上記押圧部14の外面と上記Q<sub>1</sub>、Q<sub>2</sub>部分とで支持された状態となり、上記各玉6が上記各ポケット10a、10a内で円周方向に変位し得る隙間がなくなる。

【手続補正2】

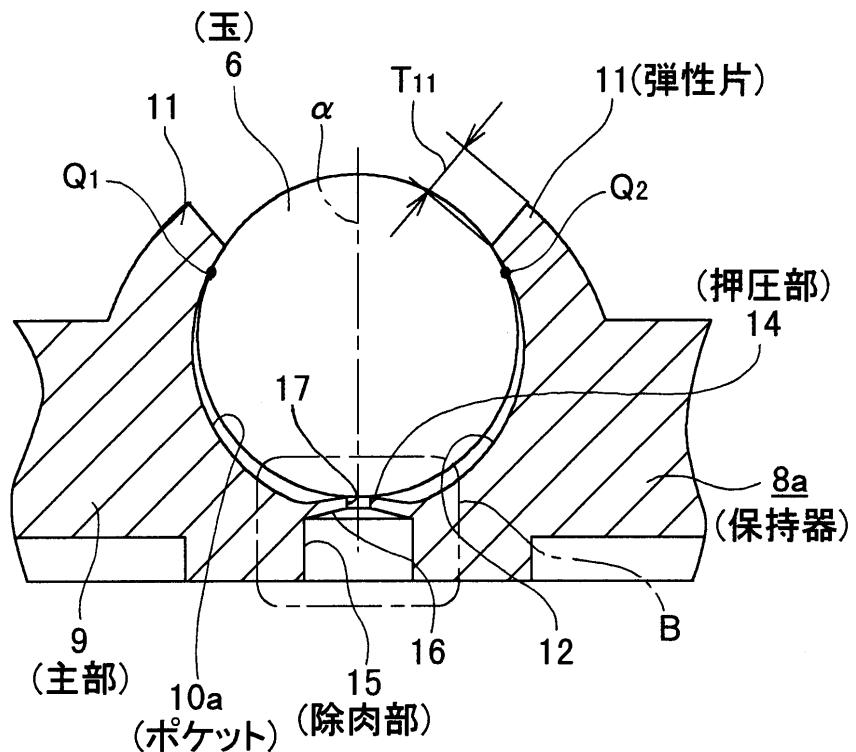
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図3】



【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図26

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図26】

